

付録 1 6 着信番号等の送出方法について（回線交換モード）

1. 情報の転送方法

- (1) “着番号” 情報要素または“キーパッドファシリティ” 情報要素で番号ディジットのみを転送する形態
- (2) “着番号” 情報要素または“キーパッドファシリティ” 情報要素で番号ディジットを転送すると共に、呼設定中もしくは‘通信中’状態に移行後、インチャネルでPB信号により付加情報を送出する形態

この形態はINSネットから利用可能となる既存アナログサービスに必要なことから、端末はアナログ電話端末の規定において線路伝送損失：L=0としてPB信号を送出すれば、現状と同等となります。

2. 回線交換における着信番号の設定方法

(1) 着番号の種類

① 一般の電話番号、フリーダイヤル、及び自動車電話番号等の着番号

一般の電話番号、フリーダイヤル、及び自動車電話番号等の着番号は、“着番号” 情報要素、又は“キーパッドファシリティ” 情報要素に設定します。

i) “着番号” 情報要素への設定

番号種別及び番号計画識別子（レイヤ3仕様参照）を「不定(Unknown:“0”）」とし、ユーザが投入した番号を、そのまま“着番号” 情報要素に設定します。

ii) “キーパッドファシリティ” 情報要素への設定

ユーザが投入した番号を、そのまま“キーパッドファシリティ” 情報要素に設定します。

iii) 着信番号の設定桁数

“着番号” 情報要素、及び“キーパッドファシリティ” 情報要素の設定可能桁数は共に最大48桁です。

② 1XY系番号

付加番号情報を必要としないサービスについては、1XY（3桁）のみを“着番号” 情報要素、または“キーパッドファシリティ” 情報要素に設定します。また、付加番号情報を必要とするサービスについては、1XY及び付加番号情報を“着番号” 情報要素、または“キーパッドファシリティ” 情報要素に設定を要するものと、1XYを“着番号” 情報要素、又は“キーパッドファシリティ” 情報要素に設定後に付加番号情報をPB信号で送出するものがあります。“着番号” 情報要素、及び“キーパッドファシリティ” 情報要素の使用方法は①と同様です。

③ # A B C D系番号

A B C D系番号は機能ボタン「#」を用いて、# A B C D（4桁）のみを“着番号”情報要素、または“キーパッドファシリティ”情報要素に設定します。サービスの最終的な指定は、Bチャンネル上にP B信号を用いて行われることがあります。

④ 0 0 X（Y）系番号

0 0 X（Y）系番号は国際通話用番号や他第一種電気通信事業者等との相互接続用番号を示します。これらの番号の設定方法については各事業者の示す手順によることとします。

(2) P B信号の送出

I N Sネットサービスでは、S D T、またはガイダンスを確認後、P B信号を用いて付加番号を送出する手順のサービスを提供します。このため、I N Sネットサービスに接続してこれらのサービスに接続して使用する端末は、P B信号の送出機能を有することが望まれます。

また、この場合、サービスの手順によっては「応答」メッセージの送出の前にS D Tやガイダンスを送出することがありますが、網は送出に先立ち必ず“経過識別子”# 1または# 8を送出しますので、端末は情報チャンネル（上り／下り）を接続することが必要となります。

(3) 機能コード「#」、「*」の送出 I N Sネットサービスでは、着信番号に機能コード「#」、「*」を含むサービスの提供を行います。端末は、機能コード「#」、「*」を、ユーザが設定する際の操作上の区切り／終止符号として用いないことが望まれます。